

「土砂災害に関して小学生と学ぶ見学会」 を実施しました(H18.11.14)



大津市比叡平小学校の4年生、5年生の皆さんと一緒に身近な災害や自然について学ぶ現場学習会を実施しました。

○比叡平小学校学区である大津市山中町は、比叡山のふもとにある山に囲まれた集落で、民家の裏には高いがけがあったり、集落の上には急な渓流があります。このた

め、がけ崩れや土石流などの土砂災害の危険性が高い地域です。

○大津土木事務所では、これまで土砂災害の危険から人命や財産を守るため、がけ崩れ対策として「擁壁工事(ようへきこうじ)」「(急傾斜地崩壊対策工事)や土石流対策として「砂防堰堤工事(さぼうえんていこうじ)」を進めてきました。山中町で実施した砂防堰堤工事では、工事による地域の自然環境への影響をできる限り少なくするために、ギフチョウの保全対策を行うなど生物の生息環境に配慮した工事を進めてきました。

○今回、地元比叡平小学校の児童の皆さんと一緒に、身近な災害と地域の自然について理解を深めてもらうために、現場学習会を実施しました。実際の工事現場の見学や、ギフチョウの産卵場や餌となるミヤコアオイの移植もしていただきました。



学習会の内容



○まずは教室で予習！～土砂災害と自然について理解を深めよう！～

土砂災害に関するビデオを見てがけ崩れや土石流について理解を深めてもらいました。続いて大津土木事務所で行っている擁壁工事や砂防堰堤工事について紹介して、土砂災害への取り組みを知ってもらいました。また、山中町周辺の自然について、山で見られるたくさんの植物や動物について知ってもらうとともに、希少な生物であるギフチョウについて詳しく学習してもらいました。



○擁壁工事(ようへき)の現場見学～がけ崩れから家を守る擁壁を近くで見よう！～

大津市山中町樹下神社の周辺で実施している擁壁工事(急傾斜地崩壊対策工事)の現場を見学してもらいました。工事の説明の中で実際の部品や工法の写真を一生懸命見ているみなさんの姿が印象的でした。



○砂防堰堤工事(さぼうえんてい)の現場見学～土石流 を食い止める砂防堰堤の大きさを実感！～

大津市山中町の上流の溪流内に設置された高さ10.5m、幅64mの大きな砂防堰堤を見学してもらいました。実際に近くで見るその大きさにみなさんから驚きの声がたくさん出ました。コンクリートの量だけでも2,450m³もあるんですよ。この大きな堰堤で上流からの土石流を食い止めます。



○ミヤコアオイの移植体験～ギフチョウのすみかを育てよう！～

5年生のみなさんは砂防堰堤工事でも行ったギフチョウのすみかとなるミヤコアオイの移植を実際に体験してもらいました。みなさんが移植した21本のミヤコアオイの近くにはそれぞれのネームプレートを置きました。ギフチョウやミヤコアオイは里山の荒廃に伴いどんどん数が少なくなっています。今日みなさんが植えたミヤコアオイがきちんと育って、来年の春ギフチョウが卵を産みに来るようになればいいですね！



○山の自然観察会～地域の秋を体験しよう！～

4年生のみなさんは、砂防堰堤の周りの山を観察して、森の大切さについて学習しました。コナラやクヌギなど落葉広葉樹(らくようこうようじゅ)の葉っぱを観察したり、近くに生えていたミヤコアオイを見つけたりしました。あまり時間がとれなかったのが残念でしたね。そのかわりおみやげにラミネート加工した落ち葉を持って帰ってもらいました。



○楽しいひととき～参加した皆さんのたくさんの笑顔！～

比叡平小学校のみなさんの他にも地元の山中町をはじめとする比叡平学区にお住まいの皆さんにも参加していただきました。

学習会の終わりにはあったかい「やきいも」の差し入れがあり、知識もお腹もいっぱいになった学習会になりました。



現場までの移動も楽しく過ごせました！



地元のみなさんと仲良く焼きいもタイム♪



NHK とびわこ放送によるテレビ取材もありました！

今回の学習会が皆さんにとって、身近な災害や自然について考えていただいたり、砂防施設について理解を深めていただくきっかけになればうれしく思います。